

通常国会に和装で登院

1月26日の第189回通常国会公召集日に、超党派で構成する「和装振興議員連盟」の国会議員約100人が和装で登院しました。女性議員も艶やかな着物を披露し、記念撮影に臨みました。



わが党女性議員と谷垣禎一幹事長



優雅な和装姿の女性局役員

山東昭子

参議院議員
元参議院副議長

着物を身に纏うと改めて日本人だという誇りと喜びに浸ることができます。この国を支えてきた自民党が国民の期待を裏切らない今国会にしなければと新年に誓いました。



野田聖子

衆議院議員
和装振興議員連盟事務局長

和装は日本文化の象徴。この伝統を絶やさないよう、国会議員が自ら先頭に立つことが大切です。通常国会の開会日に、和服を着用して、日本国の国会議員として天皇陛下をお迎えします。そして国民の皆さまも和装の理解を深め、日本文化を大切に継承して欲しいと思います。



片山さつき

参議院議員
広報本部副本部長
兼新聞出版局長

和装は日本の伝統文化です。新年は和の心ですから、和装で始めないと身が引き締まりません。緊張感をもって今年も100%全開で政策を進めていきます。



三原じゅん子

参議院議員
女性局長

年頭に和服姿になると気が引き締まります。党大会に和装でお越しいただく方も多く、日本の大切な文化である和装を継承していく上で、通常国会の開会日に国会議員が率先して着用していく意義はあると思います。



山田賢司

衆議院議員
女性局次長

華やかな女性議員の皆さまの中で黒一点、男性の女性局次長として頑張っております。日本の素晴らしさを知っていただくためにも、率先して和装を愛用して参ります。

